<table>
<tr><td>教育科目</td><td colspan="2">人間の尊厳と自立</td><td>教育内容</td><td colspan="3">人間の尊厳と自立</td><td>講義</td></tr>
<tr><td>学　　科
開講学年</td><td>介護福祉士学科
１年</td><td>開講期</td><td>(前期)・後期</td><td>授業コマ数</td><td>15　コマ</td><td>単位数</td><td>2　単位</td></tr>
<tr><td>授業目標</td><td colspan="7">1.　人間の理解を基礎に、個人の尊厳と基本的人権についての基礎知識を身につけるよう学習する。また自立・自律した生活を支える必要性について理解し、介護場面における倫理的課題について対応できるための基礎となる能力を養うよう学習する。</td></tr>
<tr><td>授業概要</td><td colspan="7">人間の尊厳では人の個別性を尊重することを理解する。自己選択・自己決定ができ自己実現に向けての自立支援が出来るよう学ぶ。</td></tr>
<tr><td rowspan="3">成績評価
方法</td><td colspan="4">定期テスト　(前期)　後期</td><td colspan="3" rowspan="2">その他（レポートなど）
前期　　回・後期　　回</td></tr>
<tr><td colspan="4">小テスト　　前期 3 回・後期　　回</td></tr>
<tr><td colspan="7">評定方法
小テスト、定期テスト</td></tr>
<tr><td>評定基準</td><td colspan="7">『坪内学園教務規程』による</td></tr>
<tr><td>担当教員</td><td colspan="7">(実務経験を有する)・(専門知識や資格等を有する)
病院及び介護施設における看護師としての実務経験</td></tr>
<tr><td>使用
テキスト等</td><td colspan="7">「人間の理解」中央法規</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td>教育科目</td><td colspan="2">人間関係とコミュニケーション</td><td>教育内容</td><td colspan="4">人間関係とコミュニケーション</td><td>演習</td></tr>
<tr><td>学　　科
開講学年</td><td>介護福祉士学科
１年</td><td>開講期</td><td>(前期)・後期</td><td>授業コマ数</td><td>15　コマ</td><td>単位数</td><td>1　単位</td></tr>
<tr><td>授業目標</td><td colspan="8">1.　介護実践のために必要な人間の理解や、他者への情報の伝達に必要な、基礎的なコミュニケーション能力を養う。</td></tr>
<tr><td>授業概要</td><td colspan="8">・人間関係の理解を基礎に、コミュニケーションの機能を理解するように支援する。
・介護福祉士として、援助関係形成のためのコミュニケーションの基礎的知識を備えるようにする。</td></tr>
<tr><td rowspan="3">成績評価
方法</td><td colspan="4">定期テスト　(前期)　後期</td><td colspan="4" rowspan="2">その他（レポートなど）
前期　回・後期　回</td></tr>
<tr><td colspan="4">小テスト　前期　3回・後期　回</td></tr>
<tr><td colspan="8">評定方法
小テスト、定期テスト</td></tr>
<tr><td>評定基準</td><td colspan="8">『坪内学園教務規程』による</td></tr>
<tr><td>担当教員</td><td colspan="8">(実務経験を有する)・(専門知識や資格等を有する)
病院及び介護施設における看護師としての実務経験
ケア・コミュニケーションについて介護現場の実際を具体的に教授</td></tr>
<tr><td>使用
テキスト等</td><td colspan="8">「人間の理解」中央法規</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td>教育科目</td><td colspan="2">社会の理解</td><td>教育内容</td><td colspan="4">社会の理解</td><td>講義</td></tr>
<tr><td>学　　科
開講学年</td><td>介護福祉士学科
1年</td><td>開講期</td><td>(前期)・(後期)</td><td>授業コマ数</td><td>30　コマ</td><td>単位数</td><td>4　単位</td></tr>
<tr><td>授業目標</td><td colspan="8">1.　人の生活を個人、家族、近隣、地域、社会の単位で捉え、我が国の人々の生活を支える社会のしくみを知り、生活と社会の関わりや、自助から公助に至る過程について理解するための学習とする。</td></tr>
<tr><td>授業概要</td><td colspan="8">個人が自立した生活を営む上で、家族や地域社会とどのような関わりがあるのかを学び、また、社会保障制度の役割や意義、発展の歴史を学ぶことで、介護サービス利用者の権利や生活を支える制度の仕組みや運用について理解する。</td></tr>
<tr><td rowspan="3">成績評価
方法</td><td colspan="4">定期テスト　　前期　　(後期)</td><td colspan="4" rowspan="2">その他（レポートなど）
前期　　回・後期　　回</td></tr>
<tr><td colspan="4">小テスト　　前期　1回・後期　2回</td></tr>
<tr><td colspan="8">評定方法
小テスト、定期テスト</td></tr>
<tr><td>評定基準</td><td colspan="8">『坪内学園教務規程』による</td></tr>
<tr><td>担当教員</td><td colspan="8">(実務経験を有する)・(専門知識や資格等を有する)
病院及び介護現場における看護師としての実務経験</td></tr>
<tr><td>使用
テキスト等</td><td colspan="8">「社会の理解」中央法規</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td>教育科目</td><td colspan="2">生活文化Ⅰ</td><td>教育内容</td><td colspan="4">生活文化Ⅰ</td><td>演習</td></tr>
<tr><td>学　　科
開講学年</td><td>介護福祉士学科
1年</td><td>開講期</td><td>前期・後期</td><td>授業コマ数</td><td>15　コマ</td><td>単位数</td><td>1　単位</td></tr>
<tr><td>授業目標</td><td colspan="8">1.　私たちの暮らしは年代や日本各地の地域性・その人の習慣によっても違いがある。また、一人一人の価値観の違いを知り、高齢者の時代の多様な生活や文化を学ぶ。更に、家族・福祉、衣食住、消費生活等に関する基本的な知識と技術を習得する。</td></tr>
<tr><td>授業概要</td><td colspan="8">高齢者の家族間、家族構成、衣食住、消費生活の中の文化的、社会的、歴史的変化ではどのような生活文化であるか学習する。高齢者等、消費者を守る為の知識を習得する。</td></tr>
<tr><td rowspan="3">成績評価
方法</td><td colspan="4">定期テスト　　前期　　後期</td><td colspan="4" rowspan="2">その他（レポートなど）
前期　　回・後期　　回</td></tr>
<tr><td colspan="4">小テスト　　前期　　回・後期　3 回</td></tr>
<tr><td colspan="8">評定方法
小テスト、定期テスト</td></tr>
<tr><td>評定基準</td><td colspan="8">『坪内学園教務規程』による</td></tr>
<tr><td>担当教員</td><td colspan="8">実務経験を有する　・　専門知識や資格等を有する
病院及び介護施設における看護師としての実務経験
介護福祉士として現場で求められる知識・技術を具体的に教授</td></tr>
<tr><td>使用
テキスト等</td><td colspan="8">教員作成資料</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td>教育科目</td><td colspan="2">介護福祉論Ⅰ</td><td>教育内容</td><td colspan="4">介護福祉論Ⅰ</td><td>講義</td></tr>
<tr><td>学　　科
開講学年</td><td>介護福祉士学科
1年</td><td>開講期</td><td>前期・後期</td><td>授業コマ数</td><td>45　コマ</td><td>単位数</td><td>6　単位</td></tr>
<tr><td>授業目標</td><td colspan="8">1.　介護を取り巻く社会状況の把握と介護福祉士誕生の背景、社会的役割を理解するとともに介護・福祉サービスを利用する方への理解を深め、自立支援のあり方について学習する。</td></tr>
<tr><td>授業概要</td><td colspan="8">介護の歴史・概念を理解し、生活支援としての介護について理解する。自立に向けた支援を行うための視点について理解し、介護の専門性、専門職に求められるものが何か学ぶ。個別ケアの重要性、利用者の QOL を高める視点を学び、利用者が納得した自己選択・自己決定を支えることを理解する。</td></tr>
<tr><td rowspan="3">成績評価
方法</td><td colspan="4">定期テスト　　前期　　後期</td><td colspan="4" rowspan="2">その他（レポートなど）
前期　　回・後期　　回</td></tr>
<tr><td colspan="4">小テスト　　前期　2回・後期　3回</td></tr>
<tr><td colspan="8">評定方法
小テスト、定期テスト</td></tr>
<tr><td>評定基準</td><td colspan="8">『坪内学園教務規程』による</td></tr>
<tr><td>担当教員</td><td colspan="8">実務経験を有する・専門知識や資格等を有する
介護施設における介護福祉士としての実務経験
介護福祉士として現場で求められる知識・技術を具体的に教授</td></tr>
<tr><td>使用
テキスト等</td><td colspan="8">『介護の基本Ⅰ』中央法規</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td>教育科目</td><td colspan="2">介護コミュニケーション技術Ⅰ</td><td>教育内容</td><td colspan="3">介護コミュニケーション技術Ⅰ</td><td>演習</td></tr>
<tr><td>学　　科
開講学年</td><td>介護福祉士学科
1年</td><td>開講期</td><td>(前期)・後期</td><td>授業コマ数</td><td>15　コマ</td><td>単位数</td><td>1　単位</td></tr>
<tr><td>授業目標</td><td colspan="7">1.　介護の現場では、介護を必要とする人との人間関係やその家族との人間関係、職員同士のチームとしての人間関係など、人と人との関係の中で成り立っている。コミュニケーションの基礎や方法を習得し、コミュニケーション能力を身に付ける。</td></tr>
<tr><td>授業概要</td><td colspan="7">介護におけるコミュニケーションの基本について、演習を通して理解する。</td></tr>
<tr><td rowspan="3">成績評価
方法</td><td colspan="4">定期テスト　(前期)　後期</td><td colspan="3" rowspan="2">その他（レポートなど）
前期　回・後期　回</td></tr>
<tr><td colspan="4">小テスト　前期　3回・後期　回</td></tr>
<tr><td colspan="7">評定方法
小テスト、定期テスト</td></tr>
<tr><td>評定基準</td><td colspan="7">『坪内学園教務規程』による</td></tr>
<tr><td>担当教員</td><td colspan="7">(実務経験を有する)・(専門知識や資格等を有する)
病院及び介護施設における看護師としての実務経験
ケア・コミュニケーションについての介護現場の実際を具体的に教授</td></tr>
<tr><td>使用
テキスト等</td><td colspan="7">「コミュニケーション技術」中央法規</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td>教育科目</td><td colspan="2">生活支援技術Ⅰ生活支援</td><td>教育内容</td><td colspan="3">生活支援技術Ⅰ生活支援</td><td>演習</td></tr>
<tr><td>学　　科
開講学年</td><td>介護福祉士学科
1年</td><td>開講期</td><td>前期・後期</td><td>授業コマ数</td><td>30　コマ</td><td>単位数</td><td>2　単位</td></tr>
<tr><td>授業目標</td><td colspan="7">1.　自立に向けた家事の介護を学ぶ。家事の介助に関する知識、技術を学び、利用者の個別性に対応できる能力を習得する。</td></tr>
<tr><td>授業概要</td><td colspan="7">家事介助を必要とする人の生活を重視し、個別性を尊重した援助を行うために、さまざまな家事介助の技法を、演習を通じて習得する。</td></tr>
<tr><td rowspan="3">成績評価
方法</td><td colspan="4">定期テスト　　前期　　後期</td><td colspan="3" rowspan="2">その他（レポートなど）
前期　　回・後期　　回</td></tr>
<tr><td colspan="4">小テスト　　前期　2回・後期　2回</td></tr>
<tr><td colspan="7">評定方法
小テスト、定期テスト</td></tr>
<tr><td>評定基準</td><td colspan="7">『坪内学園教務規程』による</td></tr>
<tr><td>担当教員</td><td colspan="7">実務経験を有する・専門知識や資格等を有する
介護施設における介護福祉士としての実務経験
介護福祉士として現場で求められる知識・技術を具体的に教授</td></tr>
<tr><td>使用
テキスト等</td><td colspan="7">「生活支援技術Ⅰ」中央法規</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td>教育科目</td><td colspan="2">生活支援技術Ⅲ
基礎介護技術</td><td>教育内容</td><td colspan="4">生活支援技術Ⅲ
基礎介護技術</td><td>演習</td></tr>
<tr><td>学　　科
開講学年</td><td>介護福祉士学科
1年</td><td>開講期</td><td>前期・後期</td><td>授業コマ数</td><td>50コマ</td><td>単位数</td><td>3単 位</td></tr>
<tr><td>授業目標</td><td colspan="8">1.　生活支援に関する基礎的な知識や技術を習得し、利用者の心身状態のレベルを理解し、自立に向けた援助とその根拠を明確にしながら学習することを目的とする。</td></tr>
<tr><td>授業概要</td><td colspan="8">さまざまな生活支援の援助方法の基礎知識や技術を学び、利用者の心身状況に応じた援助方法を根拠をもとに行うことができる力を身につける。</td></tr>
<tr><td rowspan="3">成績評価
方法</td><td colspan="4">定期テスト　　前期　　後期</td><td colspan="4" rowspan="2">その他（レポートなど）
前期　　回・後期　　回</td></tr>
<tr><td colspan="4">小テスト　　前期 2 回・後期　2 回</td></tr>
<tr><td colspan="8">評定方法
実技試験、定期テスト</td></tr>
<tr><td>評定基準</td><td colspan="8">『坪内学園教務規程』による</td></tr>
<tr><td>担当教員</td><td colspan="8">実務経験を有する・専門知識や資格等を有する
介護施設における介護福祉士としての実務経験
介護福祉士として現場で求められる知識・技術を具体的に教授</td></tr>
<tr><td>使用
テキスト等</td><td colspan="8">「生活支援技術Ⅱ」中央法規</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td>教育科目</td><td colspan="2">介護過程論</td><td>教育内容</td><td colspan="3">介護過程論</td><td>講義</td></tr>
<tr><td>学　　科
開講学年</td><td>介護福祉士学科
1年</td><td>開講期</td><td>前期・後期</td><td>授業コマ数</td><td>15　コマ</td><td>単位数</td><td>2　単位</td></tr>
<tr><td>授業目標</td><td colspan="7">1.　他の科目で学習した知識や技術を統合して介護過程を展開し、介護計画を立案し、適切な介護サービスの提供ができる能力を養う。</td></tr>
<tr><td>授業概要</td><td colspan="7">専門的知識・技術を根拠とした、客観的で科学的な思考過程による介護過程の展開を理解する。介護過程の展開に基づいた生活支援が「尊厳を守るケア」「個別ケア」を実現することを理解する。</td></tr>
<tr><td rowspan="3">成績評価
方法</td><td colspan="4">定期テスト　　前期　　後期</td><td colspan="3" rowspan="2">その他（レポートなど）
前期　　回・後期　　回</td></tr>
<tr><td colspan="4">小テスト　　前期　　回・後期　　回</td></tr>
<tr><td colspan="7">評定方法
小テスト、定期テスト</td></tr>
<tr><td>評定基準</td><td colspan="7">『坪内学園教務規程』による</td></tr>
<tr><td>担当教員</td><td colspan="7">実務経験を有する・専門知識や資格等を有する
介護施設における介護福祉士としての実務経験
介護福祉士として現場で求められる知識・技術を具体的に教授</td></tr>
<tr><td>使用
テキスト等</td><td colspan="7">「介護過程」中央法規</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td>教育科目</td><td colspan="2">介護過程演習Ⅰ</td><td>教育内容</td><td colspan="4">介護過程演習Ⅰ</td><td>演習</td></tr>
<tr><td>学　　科
開講学年</td><td>介護福祉士学科
1年</td><td>開講期</td><td>前期・後期</td><td>授業コマ数</td><td>30　コマ</td><td>単位数</td><td colspan="2">2　単位</td></tr>
<tr><td>授業目標</td><td colspan="8">1.　介護過程の学習を基礎とし、実際の生活場面での利用者の状況に応じた適切な介護の提供が出来るよう、他の授業で学んだ知識・技術を統合し、介護過程を展開、介護計画の作成ができることを目的とする。</td></tr>
<tr><td>授業概要</td><td colspan="8">さまざまな利用者の障害や心身の状況に応じた事例を用い、利用者の支援における介護の実践的展開を理解するために、介護過程を学ぶ。</td></tr>
<tr><td rowspan="3">成績評価
方法</td><td colspan="4">定期テスト　　前期　　後期</td><td colspan="4" rowspan="2">その他（レポートなど）
前期　　回・後期　　回</td></tr>
<tr><td colspan="4">小テスト　　前期　2回・後期　2回</td></tr>
<tr><td colspan="8">評定方法
小テスト、定期テスト</td></tr>
<tr><td>評定基準</td><td colspan="8">『坪内学園教務規程』による</td></tr>
<tr><td>担当教員</td><td colspan="8">実務経験を有する・専門知識や資格等を有する
介護施設における介護福祉士としての実務経験
介護福祉士として現場で求められる知識・技術を具体的に教授</td></tr>
<tr><td>使用
テキスト等</td><td colspan="8">「介護過程」中央法規</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td>教育科目</td><td colspan="2">介護総合演習Ⅰ</td><td>教育内容</td><td colspan="4">介護総合演習Ⅰ</td><td>演習</td></tr>
<tr><td>学　　科
開講学年</td><td>介護福祉士学科
1年</td><td>開講期</td><td>前期・後期</td><td>授業コマ数</td><td>40　コマ</td><td>単位数</td><td>2　単位</td></tr>
<tr><td>授業目標</td><td colspan="8">1.　Ⅰ－1：実習を通して利用者の理解、介護業務全般を理解することが出来るよう、実習に必要な知識・技術、実習生としての態度・姿勢を身につけることを目的とする。
2.　・Ⅰ－2：Ⅰ－1で学んだ利用者の生活理解を深め、介護実習Ⅱに必要な知識と技術、介護過程の展開の能力等について、個別の学習到達状況に応じた総合的な学習とする。</td></tr>
<tr><td>授業概要</td><td colspan="8">・Ⅰ－Ⅰ　実習の意義・目的を理解し、各自の実習目標・意識の明確化を図る。
・Ⅰ－Ⅱ課題の改善に向けた取り組みと、介護福祉士に必要な知識・技術の向上を目指す。</td></tr>
<tr><td rowspan="3">成績評価
方法</td><td colspan="4">定期テスト　　前期　　後期</td><td colspan="4" rowspan="2">その他（レポートなど）
前期　2　回・後期　2　回</td></tr>
<tr><td colspan="4">小テスト　　前期　2 回・後期　2 回</td></tr>
<tr><td colspan="8">評定方法
実習簿、課題、小テスト、定期テスト</td></tr>
<tr><td>評定基準</td><td colspan="8">『坪内学園教務規程』による</td></tr>
<tr><td>担当教員</td><td colspan="8">実務経験を有する・専門知識や資格等を有する
介護施設における介護福祉士としての実務経験
介護福祉士として現場で求められる知識・技術を具体的に教授</td></tr>
<tr><td>使用
テキスト等</td><td colspan="8">「介護総合演習・介護実習」中央法規</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td>教育科目</td><td colspan="2">介護実習Ⅰ</td><td>教育内容</td><td colspan="3">介護実習Ⅰ</td><td>演習</td></tr>
<tr><td>学　　科
開講学年</td><td>介護福祉士学科
１年</td><td>開講期</td><td>前期・後期</td><td>授業コマ数</td><td>152　コマ</td><td>単位数</td><td>6　単位</td></tr>
<tr><td>授業目標</td><td colspan="7">1.　Ⅰ－1：実習を通して利用者の理解、介護業務全般を理解することが出来るよう、実習に必要な知識・技術、実習生としての態度・姿勢を身につけることを目的とする。また、実習前に介護技術の確認を行う
2.　Ⅰ－2：Ⅰ－1 における介護場面の見学・体験、コミュニケーション等を通して学んだ利用者の生活理解を深め、介護実習Ⅱに必要な知識と技術、介護過程の展開の能力等について、個別の学習到達状況に応じた総合的な学習とする。専門職として必要な価値・倫理を学ぶ。</td></tr>
<tr><td>授業概要</td><td colspan="7">・Ⅰ－1①実習の意義・目的を理解するとともに、各自の実習目標・意識の明確化を図る。
②実習記録の意義・目的を理解し、日誌の書き方及び書き方のポイントを習得する。
・Ⅰ－2 において明確化した課題の改善に向けた取り組みと、介護福祉士に必要な知識・技術の向上を目指す。</td></tr>
<tr><td rowspan="3">成績評価
方法</td><td colspan="4">定期テスト　　前期　　後期</td><td colspan="3" rowspan="2">その他（レポートなど）
前期　　回・後期　　回</td></tr>
<tr><td colspan="4">小テスト　　前期　　回・後期　　回</td></tr>
<tr><td colspan="7">評定方法
各実習先指導者評価・巡回教員評価</td></tr>
<tr><td>評定基準</td><td colspan="7">『坪内学園教務規程』による</td></tr>
<tr><td>担当教員</td><td colspan="7">実務経験を有する・専門知識や資格等を有する
介護施設における介護福祉士としての実務経験
介護福祉士として現場で求められる知識・技術を具体的に教授</td></tr>
<tr><td>使用
テキスト等</td><td colspan="7">「介護総合演習・介護実習」中央法規</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td>教育科目</td><td colspan="2">認知症の理解Ⅰ</td><td>教育内容</td><td colspan="4">認知症の理解Ⅰ</td><td>講義</td></tr>
<tr><td>学　　科
開講学年</td><td>介護福祉士学科
1年</td><td>開講期</td><td>(前期)・後期</td><td>授業コマ数</td><td>15　コマ</td><td>単位数</td><td>2　単位</td></tr>
<tr><td>授業目標</td><td colspan="8">1.　認知症に関する基礎知識を習得するとともに、認知症のある人の体験や意思表示が困難な特性を理解し、本人のみならず、家族を含めた周囲の環境にも配慮した介護の視点を習得する。</td></tr>
<tr><td>授業概要</td><td colspan="8">認知症について講義野視覚教材により理解し、認知症高齢者の生活を支援するために必要なサポート体制について、家族や専門職の役割を学び支援の理解を深める。</td></tr>
<tr><td rowspan="3">成績評価
方法</td><td colspan="4">定期テスト　(前期)　後期</td><td colspan="4" rowspan="2">その他（レポートなど）
前期　回・後期　回</td></tr>
<tr><td colspan="4">小テスト　前期　3 回・後期　回</td></tr>
<tr><td colspan="8">評定方法
小テスト、定期テスト</td></tr>
<tr><td>評定基準</td><td colspan="8">『坪内学園教務規程』による</td></tr>
<tr><td>担当教員</td><td colspan="8">(実務経験を有する)・(専門知識や資格等を有する)
病院及び介護施設における看護師としての実務経験
介護現場で求められる身体に関する知識及び現場の実際を具体的に教授</td></tr>
<tr><td>使用
テキスト等</td><td colspan="8">「認知症の理解と介護」中央法規</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td>教育科目</td><td colspan="2">障害の理解Ⅰ</td><td>教育内容</td><td colspan="4">障害の理解Ⅰ</td><td>講義</td></tr>
<tr><td>学　　科
開講学年</td><td>介護福祉士学科
1年</td><td>開講期</td><td>(前期)・(後期)</td><td>授業コマ数</td><td>15　コマ</td><td>単位数</td><td>2　単位</td></tr>
<tr><td>授業目標</td><td colspan="8">1.　障害のある人の心理や身体機能に関する基礎的知識を習得するとともに、障害のある人の体験を理解し、本人のみならず家族を含めた周囲の環境にも配慮した介護の視点を習得する学習とする。</td></tr>
<tr><td>授業概要</td><td colspan="8">肢体不自由のある人や内部障害・視覚障害・聴覚障害のある人の身体的・心理的影響について理解し、アセスメントの視野を学習する。</td></tr>
<tr><td rowspan="3">成績評価
方法</td><td colspan="4">定期テスト　　前期　　(後期)</td><td colspan="4" rowspan="2">その他（レポートなど）
前期　　回・後期　　回</td></tr>
<tr><td colspan="4">小テスト　　前期　2 回・後期　1 回</td></tr>
<tr><td colspan="8">評定方法
小テスト、定期テスト</td></tr>
<tr><td>評定基準</td><td colspan="8">『坪内学園教務規程』による</td></tr>
<tr><td>担当教員</td><td colspan="8">(実務経験を有する)・(専門知識や資格等を有する)
病院及び介護施設における看護師としての実務経験
介護現場で求められる身体に関する知識及び現場の実際を具体的に教授</td></tr>
<tr><td>使用
テキスト等</td><td colspan="8">「障害の理解」中央法規</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td>教育科目</td><td colspan="2">こころとからだのしくみⅠ</td><td>教育内容</td><td colspan="3">こころとからだのしくみⅠ</td><td>講義</td></tr>
<tr><td>学　　科
開講学年</td><td>介護福祉士学科
１年</td><td>開講期</td><td>前期・後期</td><td>授業コマ数</td><td>15　コマ</td><td>単位数</td><td>2　単位</td></tr>
<tr><td>授業目標</td><td colspan="7">1.　介護技術の根拠となる人体が解剖学上、どのように構成されているかについて理解する。また、人体を構成する各器官の名称を把握し、各器官の構造とその働きについて理解する。そして、介護サービスの提供における安全への留意点や心理的側面への配慮について理解する。</td></tr>
<tr><td>授業概要</td><td colspan="7">介護には保健・医療・福祉サービスを総合的・一体的に提供することが求められているため、医学一般の知識を習得する。</td></tr>
<tr><td rowspan="3">成績評価
方法</td><td colspan="4">定期テスト　　前期　　後期</td><td colspan="3" rowspan="2">その他（レポートなど）
前期　　回・後期　　回</td></tr>
<tr><td colspan="4">小テスト　　前期　3 回・後期　　回</td></tr>
<tr><td colspan="7">評定方法
小テスト、定期テスト</td></tr>
<tr><td>評定基準</td><td colspan="7">『坪内学園教務規程』による</td></tr>
<tr><td>担当教員</td><td colspan="7">実務経験を有する・専門知識や資格等を有する
病院及び介護施設における看護師としての実務経験
介護現場で求められる医療的知識・技術を具体的に教授</td></tr>
<tr><td>使用
テキスト等</td><td colspan="7">「こころとからだのしくみ」中央法規</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td>教育科目</td><td colspan="2">こころとからだのしくみⅡ</td><td>教育内容</td><td colspan="3">こころとからだのしくみⅡ</td><td>講義</td></tr>
<tr><td>学　　科
開講学年</td><td>介護福祉士学科
１年</td><td>開講期</td><td>前期・後期</td><td>授業コマ数</td><td>15　コマ</td><td>単位数</td><td>2　単位</td></tr>
<tr><td>授業目標</td><td colspan="7">1.　介護技術の根拠となる人体の構造や機能及び介護サービスの提供における安全への留意点や心理的側面への配慮について理解する学習とする。</td></tr>
<tr><td>授業概要</td><td colspan="7">身体各部の名称および各基礎知識を学び、こころとからだに対して理解し、実際の介護に役立てる。</td></tr>
<tr><td rowspan="3">成績評価
方法</td><td colspan="4">定期テスト　　前期　　後期</td><td colspan="3" rowspan="2">その他（レポートなど）
前期　　回・後期　　回</td></tr>
<tr><td colspan="4">小テスト　　前期　2 回・後期　1 回</td></tr>
<tr><td colspan="7">評定方法
小テスト、定期テスト</td></tr>
<tr><td>評定基準</td><td colspan="7">『坪内学園教務規程』による</td></tr>
<tr><td>担当教員</td><td colspan="7">実務経験を有する　・　専門知識や資格等を有する
病院及び介護施設における看護師としての実務経験
介護現場で求められる医療的知識・技術を具体的に教授</td></tr>
<tr><td>使用
テキスト等</td><td colspan="7">「こころとからだのしくみ」中央法規</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td>教育科目</td><td colspan="2">こころとからだのしくみⅢ</td><td>教育内容</td><td colspan="3">こころからだのしくみⅢ</td><td>講義</td></tr>
<tr><td>学　　科
開講学年</td><td>介護福祉士学科
１年</td><td>開講期</td><td>(前期)・後期</td><td>授業コマ数</td><td>15　コマ</td><td>単位数</td><td>2　単位</td></tr>
<tr><td>授業目標</td><td colspan="7">1.　介護技術の根拠となる人体の構造や機能及び介護サービスの提供における安全への留意点や心理的側面への配慮について理解する学習とする。</td></tr>
<tr><td>授業概要</td><td colspan="7">障害や加齢により生活に支障が生じた部分に働きかける、安全・安楽に支援できる方法を習得する。</td></tr>
<tr><td rowspan="3">成績評価
方法</td><td colspan="4">定期テスト　　前期　　(後期)</td><td colspan="3" rowspan="2">その他（レポートなど）
前期　　回・後期　　回</td></tr>
<tr><td colspan="4">小テスト　　前期　　回・後期　3 回</td></tr>
<tr><td colspan="7">評定方法
小テスト、定期テスト</td></tr>
<tr><td>評定基準</td><td colspan="7">『坪内学園教務規程』による</td></tr>
<tr><td>担当教員</td><td colspan="7">(実務経験を有する)・(専門知識や資格等を有する)
病院及び介護施設における看護師としての実務経験
介護現場で求められる医療的知識・技術を具体的に教授</td></tr>
<tr><td>使用
テキスト等</td><td colspan="7">「こころとからだのしくみ」中央法規</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td>教育科目</td><td colspan="2">福祉・社会Ⅰ</td><td>教育内容</td><td colspan="3">新入生研修Ⅰ、学習発表会Ⅰ、総合体育、事業所関連</td><td>演習</td></tr>
<tr><td>学　　科
開講学年</td><td>介護福祉士学科
１年</td><td>開講期</td><td>(前期)・後期</td><td>授業コマ数</td><td>26　コマ</td><td>単位数</td><td>1　単位</td></tr>
<tr><td>授業目標</td><td colspan="7">1. マナーの大切さを理解し、集団行動としての協調性を養う。
2. 日頃の授業の成果を発揮し、今後の活動に活かすことができる。
3. 総合体育を通じ、チームワークの大切さを知ることができる。
4. 手話の概念、理論を知り、指文字や基本的な挨拶ができる。</td></tr>
<tr><td>授業概要</td><td colspan="7">芸術鑑賞及び考察、発表会、総合体育、事業所関連</td></tr>
<tr><td rowspan="3">成績評価
方法</td><td colspan="4">定期テスト　　前期　　後期</td><td colspan="3" rowspan="2">その他（レポートなど）
前期　　回・後期　　回</td></tr>
<tr><td colspan="4">小テスト　　前期　　回・後期　　回</td></tr>
<tr><td colspan="7">評定方法
レポート等及び活動の取り組み評価により判定する。</td></tr>
<tr><td>評定基準</td><td colspan="7">『坪内学園教務規程』による</td></tr>
<tr><td>担当教員</td><td colspan="7">(実務経験を有する)・(専門知識や資格等を有する)
介護施設における介護福祉士としての実務経験
介護福祉士として現場で求められる知識・技術を具体的に教授</td></tr>
<tr><td>使用
テキスト等</td><td colspan="7"></td></tr>
</table>

<table>
<tr><td>教育科目</td><td colspan="2">初任者研修</td><td>教育内容</td><td colspan="3">介護の理解Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ</td><td>演習</td></tr>
<tr><td>学　　科
開講学年</td><td>介護福祉士学科
１年・２年</td><td>開講期</td><td>前期・後期</td><td>授業コマ数</td><td>87　コマ</td><td>単位数</td><td>8　単位</td></tr>
<tr><td>授業目標</td><td colspan="7">Ⅰ 1. 介護職とは利用者の尊厳のある暮らしを支え、自立支援、介護予防といった基本的視点に加え、法律に基づいて介護・福祉サービスを提供する専門職であることを理解する
2. 介護職に求められる専門性と職業倫理の必要性及び職務におけるリスクとその対応策を理解する。
3. 介護保険制度や障害者自立支援制度を中心に社会保障制度について、福祉サービスを必要とする方の生活を支えるための基本的なしくみを理解する。
Ⅱ 1. 加齢・老化に伴う心身の変化や疾病について理解する。
2. 認知症を理解し、介護をする時の判断基準となる原則を理解する。
3. 障害の概念とICF、障害者福祉の基本的な考え方を理解する。
Ⅲ 1. 高齢者や障害者のコミュニケーション能力は、一人ひとり異なることとその違いを認識してコミュニケーションを取ることが専門職に求められていることを認識する。
2. チームケアにおける専門職間のコミュニケーションの重要性を理解する
3. 介護技術の根拠となる人体の構造や機能に関する知識を習得する。また利用者の尊厳を保持し、その人の自立及び自律を尊重し、持てる力を発揮してもらいながらその人の在宅、地域等での生活を支える介護技術や知識を習得する。</td></tr>
<tr><td>授業概要</td><td colspan="7">Ⅰ. 求められる専門性や職業倫理に基づいて、利用者の尊厳のある暮らしをどのように支えるか、社会保障制度の視点から総合的に学習する。
Ⅱ. 加齢・老化に伴う心身の変化や疾病、認知症、障害を理解し個別性に応じた支援の仕方を学ぶ。
Ⅲ. 利用者とその家族とのコミュニケーションやチーム（職種内・多職種）のコミュニケーションの目的や役割とさまざまなコミュニケーションの技法を学ぶ。
介護の基本的考え方やこころとからだのしくみの基礎を学び、自立に向けた介護の基礎と、生活場面において必要な介護技術を実践する。</td></tr>
<tr><td rowspan="3">成績評価
方法</td><td colspan="4">定期テスト　前期　後期</td><td colspan="3" rowspan="2">その他（レポートなど）
前期　　回・後期　　回</td></tr>
<tr><td colspan="4">小テスト　　前期　3　回・後期　3 回</td></tr>
<tr><td colspan="7">評定方法
小テスト、定期テスト</td></tr>
<tr><td>評定基準</td><td colspan="7">『坪内学園教務規程』による</td></tr>
<tr><td>担当教員</td><td colspan="7">実務経験を有する・専門知識や資格等を有する
病院及び介護施設における看護師としての実務経験
介護施設における介護福祉士としての実務経験</td></tr>
<tr><td>使用
テキスト等</td><td colspan="7">「介護職員初任者研修テキスト第１巻」「介護職員初任者研修テキスト第２巻」　中央法規</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td>教育科目</td><td colspan="2">キャリア演習Ⅰ</td><td>教育内容</td><td colspan="4">キャリア演習Ⅰ</td><td>演習</td></tr>
<tr><td>学　　科
開講学年</td><td>介護福祉士学科
1年</td><td>開講期</td><td>前期・後期</td><td>授業コマ数</td><td>20　コマ</td><td>単位数</td><td>2　単位</td></tr>
<tr><td>授業目標</td><td colspan="8">1. 履歴書の書き方（自己分析・企業分析含む）理解
2. 就職活動に必要な知識・マナーの習得
3. 採用試験に向けたSPI・面接スキルアップ
4. 就職活動早期取り組みへの意識づけ</td></tr>
<tr><td>授業概要</td><td colspan="8">履歴書指導により自己分析を行い、合同企業・法人ガイダンスにより企業分析および就職活動への意識を向ける。またガイダンスに向けた身だしなみ、メイク講座、就活式にて就職活動に必要な基礎知識を身に着ける。</td></tr>
<tr><td rowspan="3">成績評価
方法</td><td colspan="4">定期テスト　　前期　　後期</td><td colspan="4" rowspan="2">その他（レポートなど）
前期　　回・後期　　回</td></tr>
<tr><td colspan="4">小テスト　　前期　　回・後期　　回</td></tr>
<tr><td colspan="8">評定方法
提出物、報告書等及び取り組み状況により判定</td></tr>
<tr><td>評定基準</td><td colspan="8">『坪内学園教務規程』による</td></tr>
<tr><td>担当教員</td><td colspan="8">実務経験を有する　・　専門知識や資格等を有する
病院及び介護施設における看護師としての実務経験
就職に関する知識及び社会人として求められるマナー等を教授</td></tr>
<tr><td>使用
テキスト等</td><td colspan="8">自主作成プリント等</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td>教育科目</td><td colspan="2">実践ボランティア ※自由選択科目</td><td>教育内容</td><td colspan="4">実践ボランティア</td><td>演習</td></tr>
<tr><td>学　　科
開講学年</td><td>介護福祉士学科
1年</td><td>開講期</td><td>(前期)・後期</td><td>授業コマ数</td><td>12　コマ</td><td>単位数</td><td>1　単位</td></tr>
<tr><td>授業目標</td><td colspan="8">1.　ボランティアを通して、社会や地域のもつ教育力を有効に活用し、奉仕の精神とコミュニケーション能力、主体性を兼ね備えた人材の育成を図り、社会人としての心構えを育む。</td></tr>
<tr><td>授業概要</td><td colspan="8">事前指導・事後指導に参加する。(1 コマ)
地域社会や企業・施設等でボランティア活動を行う。(11 コマ)</td></tr>
<tr><td rowspan="3">成績評価
方法</td><td colspan="4">定期テスト　　前期　　後期</td><td colspan="4" rowspan="2">その他（報告書等）
実施後 1 回</td></tr>
<tr><td colspan="4">小テスト　　前期　　回・後期　　回</td></tr>
<tr><td colspan="8">評定方法
報告書、ボランティア実施先の参加証明、事後指導の提出物により判定。</td></tr>
<tr><td>評定基準</td><td colspan="8">『坪内学園教務規程』による</td></tr>
<tr><td>担当教員</td><td colspan="8">実務経験を有する　・　専門知識や資格等を有する</td></tr>
<tr><td>使用
テキスト等</td><td colspan="8"></td></tr>
</table>